

教科	保健体育	科目	体育	年次	1～4	単位数	7
使用教科書 (副教材など)		現代高等保健体育 改訂版(大修館) 現代高等保健体育ノート 改訂版(大修館)					

学習 目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	
評価の 観点	① 知識・技能	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解するとともに、目的に応じた技能を身に付けている。
	② 思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫できるようにするとともに、それらを他者に伝えている。
	③ 主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組んでいる。
評価の 方法	毎時間の授業で活用する提出物(課題、ノート、学習プリント等)、技能テストの成績などを総合的に評価します。また、平常の取組についても評価の対象とします。授業態度や参加姿勢に加え、グループ活動等における学びに向かう姿勢を総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 体づくり運動	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義を学びます。 ・健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て、取り組みます。 ・運動の局面ごとに技術の名称があることを学びます。
	2 陸上競技	・それぞれの運動種目によって必要な体力要素について理解し、効果的に体力を高めます。
	3 球技(バドミントン)	・サーブでは、シャトルに変化をつけて打てるようにします。 ・シャトルを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことを学びます。 ・自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘できるよう工夫します。 ・決められたルールや自分たちで決めたルールを守る重要性について学びます。
	4 球技(ソフトボール)	・状況に応じたバット操作ができるようにします。 ・打球のバウンドやコースに応じて、タイミングを合わせてボールを取ることができるようにします。 ・打者の特徴や走者の位置に応じた守備位置に立つことができるようにします。 ・練習やゲームの場面で、チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を考えます。
	5 体育理論	・スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたことを理解できるようにします。 ・我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあり、日本の文化の発信に貢献していることを理解できるようにします。 ・現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることを理解できるようにします。 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、自主的に取り組むことができるようにします。 ・オリンピック、パラリンピックを通じたスポーツの価値とドーピングの防止について学びます。
後期	6 球技(卓球)	・技術や戦術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントについて理解できるようにします。 ・ねらった場所にサーブが打てるようにします。 ・相手のいない場所に打ち返すことができるようにします。 ・自己や仲間の課題に応じた練習方法を考え、実践できるようにします。 ・相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にできるようにします。 ・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができるようにします。 ・シュートやパスを受けるために味方が作り出した空間に移動することができるようにします。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を理解し、責任をもって取り組むことができるようにします。
	7 球技(サッカー)	・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができるようにします。 ・シュートやパスを受けるために味方が作り出した空間に移動することができるようにします。 ・一定のエリアから得点しにくい空間に相手や相手のボールを追い出す守備の動きを学びます。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を理解し、責任をもって取り組むことができるようにします。
	8 球技(バスケットボール)	・空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができるようにします。 ・シュートやパスを受けるために味方が作り出した空間に移動することができるようにします。 ・一定のエリアから得点しにくい空間に相手や相手のボールを追い出す守備の動きを学びます。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を理解し、責任をもって取り組むことができるようにします。
	9 体育理論	・現代のスポーツの経済効果には、スポーツの実施による直接的な効果のみならず、波及的な効果があり、経済活動に大きな影響を及ぼしていることを理解します。 ・スポーツを行う際には、提供者・利用者の双方に持続可能な社会の実現や共生社会の実現を視野に入れた取組が求められることについて理解します。 ・習得した知識を基に、持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて、自己の提案や言葉や文章などを通して他者に伝える活動を行います。